

令和4年7月部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和4年6月28日（火） 午前8時20分から午前10時30分まで
- ◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、新産業創造推進局長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・6月市議会定例会は、提出議案を全て可決いただき終了した。
- ・部局長をはじめ、職員の皆さんには、一般質問や委員会における対応など、お疲れさまでした。
- ・6月定例会で決定いただいた補正予算には、原油価格・物価高騰対策のための予算が盛り込まれているが、市民生活への影響は今後も続くと思われるため、効果的に執行するとともに、地方創生臨時交付金を活用した更なる対策についても検討を進めてもらいたい。
- ・副市長について、6月定例会で副市長の選任について同意いただいた松山大貴さんは、7月1日に就任いただく。
- ・長野市の財政基盤を確かなものにする必要があり、本市の経済基盤を強化したい。
- ・松山副市長には経済産業分野などで力を発揮していただきたい。
- ・西澤副市長には、庁内のとりまとめや財政面を担っていただきたい。
- ・御開帳が間もなく終了するが、長い期間、お疲れさまでした。コロナ感染症への的確な対策により、みんなに喜んでもらえた。

1 報告事項

（1）令和3年度産業団地事業会計及び戸隠観光施設事業会計決算について（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から説明した。（資料1参照）

○質疑なし

（2）令和3年度水道事業会計及び下水道事業会計決算について（上下水道局）

標記事項について、上下水道局長から説明した。（資料2参照）

○質疑なし

2 協議

（1）長野市地域公共交通計画（案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の実施について（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から説明した。（資料3参照）

○質疑

〔財政部長〕財政負担について、公的負担額の目標値に収める筋道は示されているか。

〔企画政策部長〕筋道は示していない。公共交通は、地域の足を確保する性格もあるが、財政負担は際限があり目安として目標値を置いている。AIデマンドはバス台数の削減にもつながる政策であり、状況をみて他の中山間地へも広げられるものは広げるが、足を確保するために財政負担が必要になるものもあると考えている。

〔財政部長〕 財政を圧迫するであろう交通網の対策もお願いしたい。

〔企画政策部長〕 民間では立ち行かなくなったときに、市が空白をつくらないために運行委託をしているが、今後、状況をみながら見直し路線を含め検討していきたい。

○今後の方向性

原案を了承

(2) バス共通ICカード (KURURU) システム更新の方針について (企画政策部)

標記事項について、企画政策部長から説明した。(資料4参照)

○質疑

〔こども未来部長〕 連携中枢都市圏事業として、近隣の町村がKURURUカード利用をしているが、連携中枢都市圏の市町村との関係はどのようにやっていくのか。

〔企画政策部長〕 バス路線が伸びている須坂市、飯綱町、小川村、高山村には、協議に入っただき同意を得ながら進めている。

〔農林部長〕 ICカードとSuicaが連携するとのことで、コンビニの買い物でもポイントを使えるのか

〔交通政策課長〕 コンビニで決済はできるが、ポイント制度はバスとコンビニとを切り離している。

〔農林部長〕 原資をバス事業者が出しているの、ポイントがコンビニへ流れないのであればよい。

〔交通政策課長〕 バスのポイントは、バスの乗車のみ利用できるシステムとなる。

〔農林部長〕 ICカードとSuicaとの連携をするには、利用料が高価なものとなると聞いているが、利用料の想定はどのくらいか。行政とバス事業者の負担割合は。

〔交通政策課長〕 ランニングコストの比較としては、ICカードはKURURUとほぼ同程度でシステム利用料や保守料が賄えると想定している。最終的には協議会で決定することになるが、事業者や市町村からいただく運営費の中で賄う。

〔財政部長〕 負担割合の考え方についてはどのようになっているのか。

〔交通政策課長〕 導入時、更新時と同じであり、市民の利便性を考える交渉の過程で決めている。今回もそれを踏襲した。

〔財政部長〕 数的根拠はないということか。

〔企画政策部長〕 その通り。バス事業者がシステム投資に躊躇することもあり、バス事業者も受け入れられる投資額を協議などしていく中で決めてきたもの。

〔副市長〕 市民、観光客の利便性も向上し、国庫補助も活用できる良い取り組みである。JR篠ノ井線、しなの鉄道、長野電鉄がSuicaを使える目途はあるか。

〔企画政策部長〕 Suicaの利用については、在来線は、松本駅までで止まっている。ICカードシステム更新は令和7年度スタートの予定であり、JRに7年にSuicaの利用ができるよう働きかけていく。県でもバスを含め全体的に、ICカードの連携ができるようにという構想もある。

〔副市長〕 積極的に働きかけてほしい。スマートシティとの連携もあるかもしれない。

○今後の方向性

原案を了承

(3) 第二次長野市環境基本計画後期計画の取組結果及び第三次長野市環境基本計画における令和4年度の指標・目標値等の設定について（環境部）

標記事項について、環境部長から説明した。（資料5参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(4) 長野市奨学金制度の見直しについて（教育委員会）

標記事項について、教育次長から説明した。（資料6参照）

○質疑

〔議会事務局長〕 入学準備金のほかに奨学金も借りることもあると思う。借りながら返すことが考えられ、滞納になるのではないかと。奨学金とのダブルの返済は厳しいと思うのだが。

〔教育次長〕 入学準備金は、保護者から返していただく。奨学金とは借主を分けており、滞納が起きないようにしている。

〔議会事務局長〕 奨学金は必要な制度である。県の制度が充実しており、県とのすみ分けを検討してほしい。

〔保健所長〕 奨学生の要件として、「他団体から別に学資の貸与を受けていない」との記載があり、これを設けておかなければならない理由があるのかどうか。いろいろな制度を併用しなければならない人もいるのではないかと。

〔教育次長〕 他の制度でも同じような金額が設定されており、幾つもの借りて返還ができなくなってしまうということで、設けているもの。

〔保健所長〕 入り口を狭めることは別の弊害があるかもしれないので、この要件の必要性について検討いただきたい。

○今後の方向性

原案を了承

3 その他

(1) 都市ブランディングの推進について（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から説明した。（資料7参照）

○質疑

〔財政部長〕 継続的な事業であり、事業費が大きい。しっかり成果を出して欲しいが、ゴールはどのように捉えればいいのか。

〔企画政策部長〕 予算的には、大きな経費がかかるのは来年度までである。効果は、ブランディングが浸透し、長野市は面白い、クリエイティブだということが外に届くこと。

〔市長〕 ゴールや効果は計測が難しい。市民の中に、長野市も変わってきたなという思いの方が増えるといい。例えばスターバックスがあることで世界標準に近づいてきたというよい印象がある。「KURURU」の更新も東京が近づいてきたよいチャンス。若者が楽しめるまち、集まるまちがその成果の一つではないか。

〔企画政策部長〕 デザイン料は見込みをたてるのが難しい。費用面について研究していきたい。

(2) ながの版ネウボラの強化に向けた保健センター等での妊娠届の全数受付について

(保健福祉部)

標記事項について、保健所長から説明した。(資料8参照)

○質疑

[地域・市民生活部長] 支所へ提出したいという方がいれば柔軟に対応したい。

[保健所長] 市民の理解を得られるまでは柔軟な対応をしたい。

[副市長] 説明の周知方法について、内容は相談に乗っていただくいい意味合いが強いため、標題で「…廃止」ではなく、工夫ができればしてほしい。

[企画政策部長] どうしても支所へ出したいと言うときは、柔軟に対応するということでいいか。市民、支所に混乱のないようにしてほしい。

[保健所長] 支所で受けるのは、8月31日まで。9月以降は、個別の対応をお願いできればありがたい。

(3) バイオマス活用自治体新電力会社設立に向けた詳細調査の実施について(新産業創造推進局)

標記事項について、新産業創造推進局長から説明した。

○質疑

[財政部長] 自治体新電力で、経営状況が悪くなったという話を聞く。その原因として「電力市場価格の高騰」があるが、他のリスクについても、幅広く検証してほしい。

[新産業創造推進局長] 電力を一般家庭へ供給すると供給量が増えることで、電力市場から電力調達しなければならないのがリスク。この事業では、バイオマス発電で得られる電力を、供給できる範囲で公共施設への提供することを考えている。その他のリスクとしては、発電所の点検のための休業や、被災による稼働停止などが考えられる。詳細調査でしっかり調査していく。

[環境部長] 国が進める脱炭素先行地域の選定に向けて、原動力としての発展を考えてもいいのか。

[新産業創造推進局長] 環境部と一緒に考えていく中で、組み込むことも可能だと考えている。

[市長] 小売電力事業を休止している事例もあるとのことだが、どのような事情か。

[新産業創造推進局長] 電力の調達先として電力市場からの調達に頼っていたため、市場価格の高騰により採算が合わなくなってきたため停止したケースが多い。

[市長] 「お山の発電所」では材は集まってきているのか。将来に問題はないか。

[新産業創造推進局長] 現状としては、材は、調達できていると聞いている。今回の自治体新電力は、電力供給のメインが「ながの環境エネルギーセンター」での発電であり、発電量は問題ないと聞いている。

[副市長] 森林資源のバイオマスとしての活用について、林業振興の視点も含めて取り組むべきではないか。

[新産業創造推進局長] 農林部と連携して取り組む。

(4) 千曲川における河道掘削で発生する建設発生土の受入希望者公募について(建設部)

標記事項について、建設部長から説明した。(資料9参照)

○質疑

[上下水道事業管理者] 掘削による想定の上砂量は、

〔建設部長〕詳細はまだ国からきていない。

〔上下水道事業管理者〕土砂の全てを、市内ですべて賄う想定か。

〔建設部長〕遊水地整備が5か所あり、それに伴い堤防を作ることになるが、そこにかかなりの土砂を使い消費できる。遊水地の設計と併せて検討していく。

〔上下水道事業管理者〕受入れ先の利害関係者が相当あると思う。安全対策のメッセージも入れる必要がある。

〔建設部長〕安全対策が大切であるので、分かるようにしていく。

（５）長野市立地適正化計画の改定（案）に対する市民意見募集（パブリックコメント）の結果及び計画（案）について（都市整備部）

標記事項について、都市整備部長から説明した。（資料10参照）

○質疑

〔上下水道事業管理者〕医療機能を新たに追加することによって、長野赤十字病院は追加されたが、篠ノ井総合病院と松代総合病院が追加されていない。追加されなかった理由はなにか。

〔都市整備部長〕追加は、災害に対応している病院である。

〔上下水道事業管理者〕篠ノ井総合病院は災害時の病院であり、入れるように検討してほしい。

〔保健所長〕地域の災害拠点病院として、長野赤十字病院と篠ノ井総合病院、長野市民病院がある。篠ノ井総合病院も長野赤十字病院と同じ扱いで、追加できるのではないかと。松代総合病院は災害拠点病院には位置付けられていない。

〔都市計画課長〕立地適正化計画は、アクションプランで具体的な事業があるものについて、随時計画等の追加ができるものであり、長野赤十字病院は移転の計画があるため、基幹災害拠点病院として位置付けたもの。篠ノ井総合病院は、今現在は建て替え等の計画がない。計画が出てきた際には、入れていくことを考えていきたい。

〔企画政策部長〕計画などの動きがないと追加等できないのか。計画は、地域の資源を入れて考えるものであり、資料の整合を考えると指摘のとおりを感じるので、合わせて検討いただきたい。